

# 鳥取市公設地方卸売市場経営戦略（令和3年度から令和12年度）【概略版】

## 鳥取市公設地方卸売市場

開設年月 昭和48年4月

敷地面積 32,237㎡

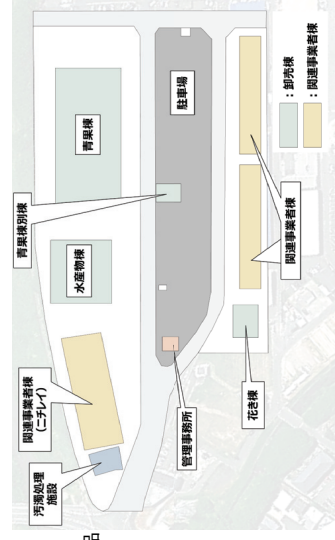
建物面積 延べ7,285㎡（青果棟4,465㎡、水産物棟1,760㎡、花き棟400㎡、管理事務所300㎡（ほか））

民有施設 延べ3,774㎡

管理者 協同組合鳥取総合食品卸売市場

取扱品目 野菜、果物、水産物、花、その他加工品

場内事業者 卸売業者：4社、関連事業者：15社



### 経営戦略について 参照：P1

総務省より、令和2年度中の策定要請（H26.8通知ほか、H31.3ガイドライン・マニュアル）施設の高齢化等の課題への対応について計画

### 経営戦略の計画期間 参照：P1

令和3（2021）年度～令和12（2030）年度（10年間）

### 全国の卸売市場の現状 参照：P2～

全国的な取扱量の減少・・・人口減、流通の多様化

法改正：卸売市場法・・・卸売・仲卸業者の取引規制の自由化など（規制の撤廃）

食品等流通法・・・食品等の流通合理化の推進による卸売市場の活性化、新たな需要の開拓、付加価値の向上を促進（流通の効率化、品質・衛生管理の高度化、情報通信技術の活用等）

### 鳥取市公設地方卸売市場の課題 参照：P22

施設の老朽化及び耐震強度の不足 I S値：青果棟（0.22）、水産物棟（0.35）、花き棟（0.14）、管理事務所（0.14）

品質管理・衛生管理への対応 開放型施設から閉鎖型施設へ

適正規模化 機能強化のうえで取扱規模に見合った規模、災害等に影響を受けにくい構造

規制緩和への対応 経営の安定化のための新たなニーズの取り込み・制度の見直し

機能の強化（流通機能の効率化） 地元の生産者から選ばれる市場へ変化

### 戦略の柱（課題への対応方針） 参照：P26

建替による閉鎖型施設への転換【食の安心・安全・災害への対応】 品質管理、衛生管理

流通合理化・HACCP取得の促進などの機能の強化【食の安心・安全】 共同配送、加工を行う事業者のHACCP認証

直荷引（仲卸制度導入に合わせた）と第三者販売の適用【規制緩和】 新たなニーズの取り込み、販路の拡大、残品の軽減

施設整備等におけるPPP手法導入の推進【民間手法】 経営水準の向上

## 鳥取市公設地方卸売市場の将来像 参照：P34

### 『地域経済の持続的発展をけん引していく卸売市場』

### 取扱量・取扱高の目標値 参照：P35

令和12年度（計画最終年度）の取扱量・取扱高を維持（令和元年度と同等以上）

取扱高・・・7,340,755千円

取扱量・・・青果21,792t 水産1,089t 花き4,626千本

### 設備投資に係る概算事業費 参照：P40

施設整備の概算額：3,622百万円 ※他市事例から取扱量で按分し算出

（財源内訳） 国庫補助金 711百万円 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

起債 2,828百万円 公営企業債（市場）

一般会計繰入金 83百万円 基本設計費ほか

計 3,622百万円

### 新施設における使用料 参照：P44

施設を50年間使用する総コスト（管理運営費を含む）から、地方財政計画を踏まえた一般会計からの繰出金（起債元利償還金1/2、営業費用の30%）・国庫補助金を除いた額を使用料で賄う。

必要となる使用料収入（単年）59百万円（令和元年度使用料実績：34百万円）

### 今後の検討事項 参照：P41・46

施設の詳細内容、規制緩和の内容、新たな使用料についての関係者との合意形成 など

※現行使用料（抜粋） 市場使用料：卸売金額の2/1000

売場使用料：土地・建物使用料（定額）

荷さばき場使用料：建物に隣接する荷さばきに利用している部分（定額）（ほか）

### スケジュール（想定） 参照：P37・P47～・財政収支計画

鳥取市公設地方卸売市場運営審議会への諮問・答申 令和2年12月～2月

市場関係者との協議（継続） 令和2年12月～ 各種検討事項を協議

市民政策コメント 令和3年1月

経営戦略の確定 令和3年3月

基本設計予算の計上 令和3年6月議会

### 基本設計

令和3年9月～ ※経営戦略では年度内終了

国交付金事業計画提出（以降毎年度） 令和3年6月～（令和4年度：実施設計に関するもの）

食品等流通合理化計画提出 など 令和3年度 ※国交付申請に必須

実施設計（経営戦略での想定） 令和4年度中

前期工事着手・施設解体（経営戦略での想定） 令和5年度～

供用開始（経営戦略での想定） 令和7年4月（目標）